

いよいよ最終回 これまでのオトコとオンナのお話

このコラムを始めたのが、昨年春、2008年の4月号。それから、回を重ねて、11回目を迎えた。女を知ればオトコになれる“も今回で最終回。わたしは、これまで女性を通して、人について、いろいろ話しをしてきました。『魅力的な女性』『女のうそ』『ニューハーフの魅力』『腹をくくる男とわきまえる女』『ナイスのテクニク』『オンナのオネダリとオトコの虚栄心』など、オトコとオンナに関する話しはつきません。最終回の今回は、ちょっとシビアに聞こえるかもしれないんですが、根本に戻って“オトコには女性が必要？”という話しをしたいと思っています。

オトコには女性が必要？ 疲れたオトコが女性に求めること

オトコには女性が必要なのでしょう。もちろん、種の保存という意味では必要です。では、精神的には？？？以前にも、お話ししましたが、オトコはオンナに癒しを求めます。男と男の社会で戦ってきた後は、オトコにはない女性のやさしい包容力を求めたくなります。しかし、真にオトコに女性が必要な理由はこれだけではないと思うのです。

最近、叱られましたか？ 重要なのは、対等であること

わたしは、オトコとオンナの関係もやはり対等でないと感じたなと思います。もちろん、経済的な面ではなく、精神的な面で。対等であるから

こそ、相手の話が理解できるし、笑いあえたりするのです。そして、同じ土俵にたった女性だからこそできることがあります。叱る“ということ。

怒る“ではありません。人は叱られることによって、自分の欠点もわかりますし、成長もできます。しかし、大人になると叱られることって少なくなっていくますよね。偉くなるほどなおさら。だから、大人になるほど、自分を叱ってくれる女性が近くにいることは大事なことです。あなたのことをよく理解している女性こそが、あなたの実になる。包容力のある叱り方“をしてくれます。だから、精神的に対等であることは重要なのです。

オトコにとって女性は なくてはならない存在

“包容力のある叱り方“ができる女性っ

てどんな人でしょうか。その女性は、

あなたと共に成長できる、向上心のある女性。いつでも、一生懸命で、情熱的、いろんなことを吸収できる精神的に潤っている女性のことです。

そして、そんな女性はあなたを叱った後、女性特有の母性本能であなたを包みこんでくれるでしょう。叱ってもらえるぐらいの関係性の女性が傍に居れば、オトコはやはり成長することができるようになります。だから、オトコにとって女性は本当に大事な存在なのです。けれど、この方程式を成り立たせるためには、女性の内面をしっかり見つめなければなりません。そのために、女性のことをよくよく知ってください。そうすることで、イイオトコに成長できるのです。そう、オンナを知れば、男になれるのです。

『オンナを知ればオトコになれる』

藤井靖成



筆者からもう一言

私は医者として、たくさん人に接し、人が生きることをずっと考えてきました。生きる上で、「オトコとオンナ」は切っても切りはなせない関係。だから、オトコとオンナについて、いつまでも真剣に向き合ってほしいと思います。そして、ますます奥深いイイ男になってください。また、お会いできる日を楽しみにしています。

著者プロフィール 藤井靖成

藤井クリニック院長。内科専門医であると同時に消化器内視鏡専門医・指導医として従事。胃がん、大腸がんの内視鏡治療・手術で磨いた技術と、豊富な経験をもとに美容外科の技術も習得。1万例の美容外科施術経験を積む。